

八坂公園再整備事業に関するアンケート

の結果概要





1. 八坂公園の概要

八坂公園は、昭和60年に開園し、休息、散歩、運動、遊戯を目的として幅広い年齢の方が利用しており、坂東市の代表的な総合公園である。

春季は桜、夏季は蓮が开花し、花を楽しむことができる。

また、恐竜の遊具や滑り台（屋外プール内）があり、子どもたちからとても人気がある。

さらに、陸上競技場は将門ハーフマラソンのゴール地点となっていたり様々なイベント会場として利用されている。

所在地

茨城県坂東市岩井3 1 6 2 番地3

主な施設

陸上競技場、屋外プール、恐竜遊具、池、駐車場、トイレ、休憩施設など

屋外プールの種類

50mプール、わんぱくプール、幼児用プール

2. アンケート調査の概要

調査対象者

坂東市内在住者、坂東市内通勤・通学者、八坂公園利用者

調査期間

令和8年2月20日（金）～令和8年4月20日（月）

実施方法

市ホームページ（WEB）、アンケート用紙（調査票）

主な調査項目

八坂公園における総合評価、利用状況、老朽化に伴う再整備の考え方、
今後の施設（新たに欲しい施設・残してほしい施設） 等

回答状況

回答者数 219人 （WEB：185人 調査票：34人）

3. 調査の目的

本アンケートは、開園以来40年以上が経過したことによる老朽化に伴う八坂公園の各施設改修を検討にあたり、市民等の利用実態、公園および屋外プールに対する評価、今後求められる機能・整備内容等の意見集約を目的として実施したものである。

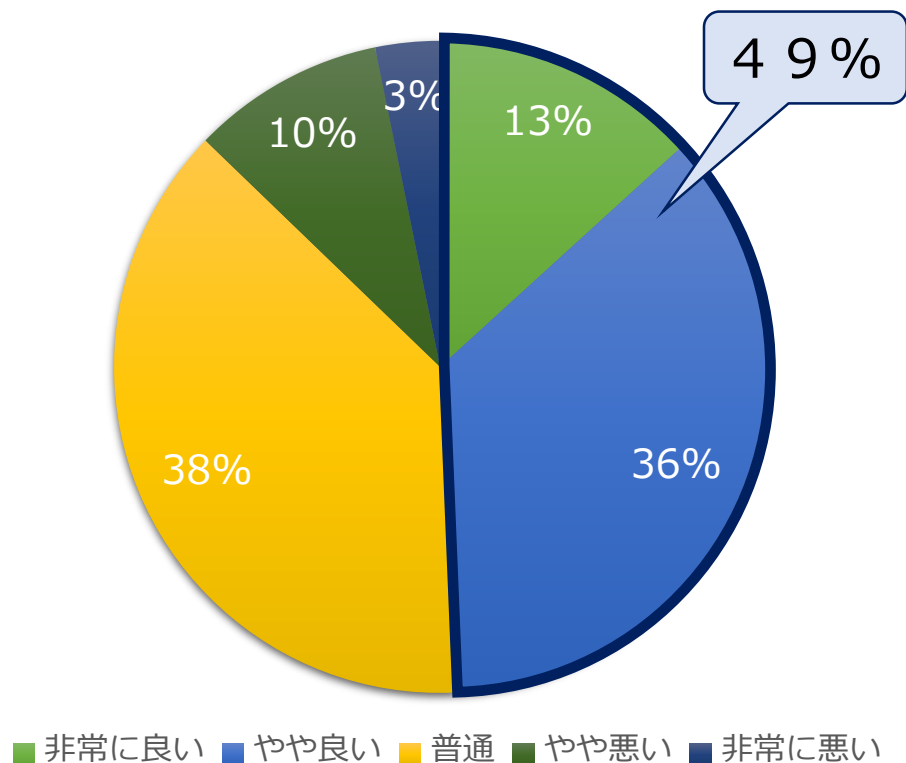
八坂公園は、恐竜遊具、屋外プール、自然景観、散策空間、陸上競技場等を有する市内の主要な公園である一方、施設全体の老朽化が進んでいることから、再整備のあり方についての意見を求めた。

本調査では、八坂公園の現状評価に加え、利用目的や利用頻度、今後望まれる公園機能、プールの再整備方針、自由記述による具体的意見を収集している。

4. アンケート結果（1）総合評価

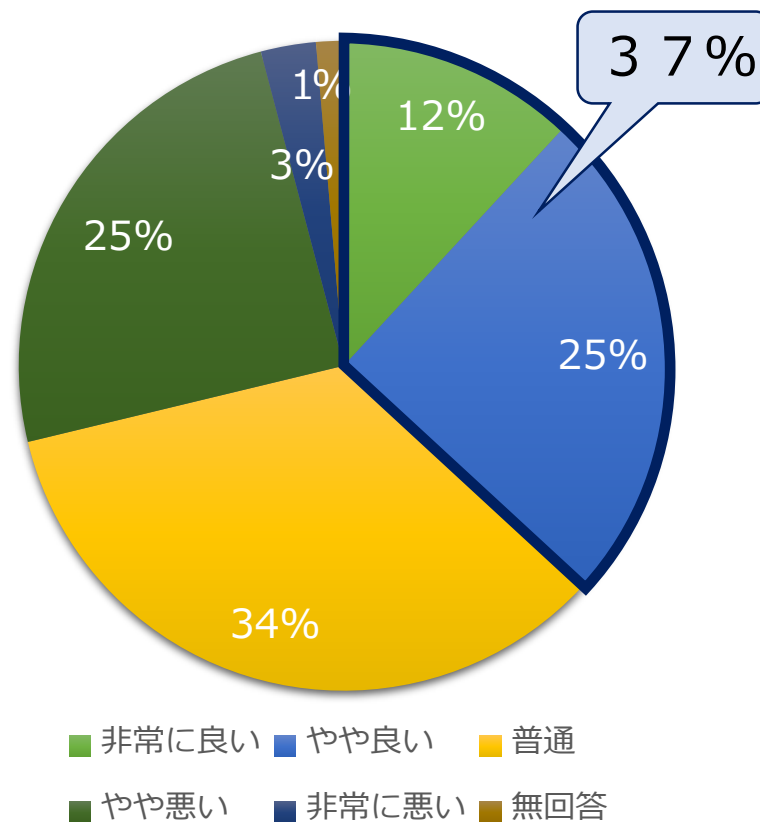


●現在の八坂公園の総合評価



結果は、「良い」が49%、「普通」が38%、「悪い」が13%となった。

●現在の屋外プールの総合評価

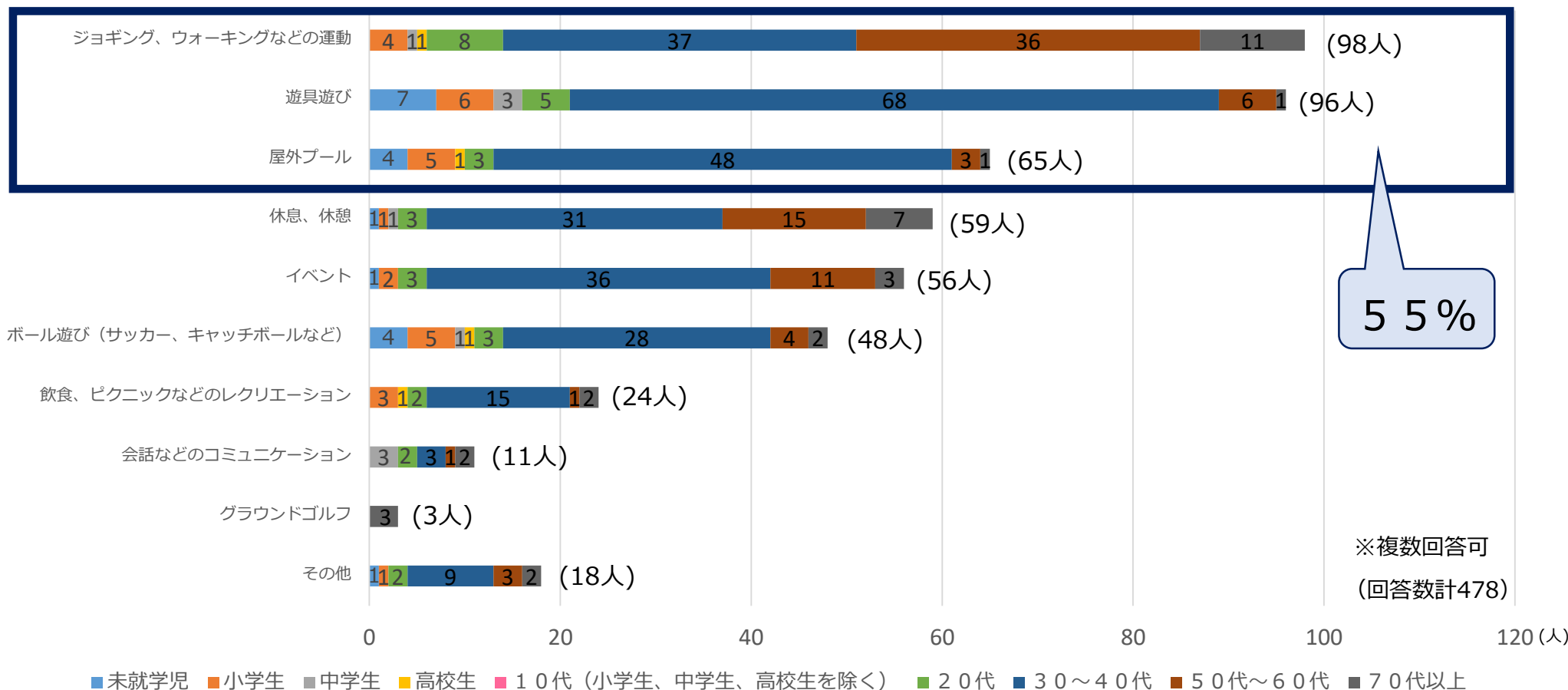


結果は、「良い」が37%、「普通」が34%、「悪い」が28%、「無回答」が1%となった。

4. アンケート結果（2）利用状況①



●公園利用の目的（年代別）

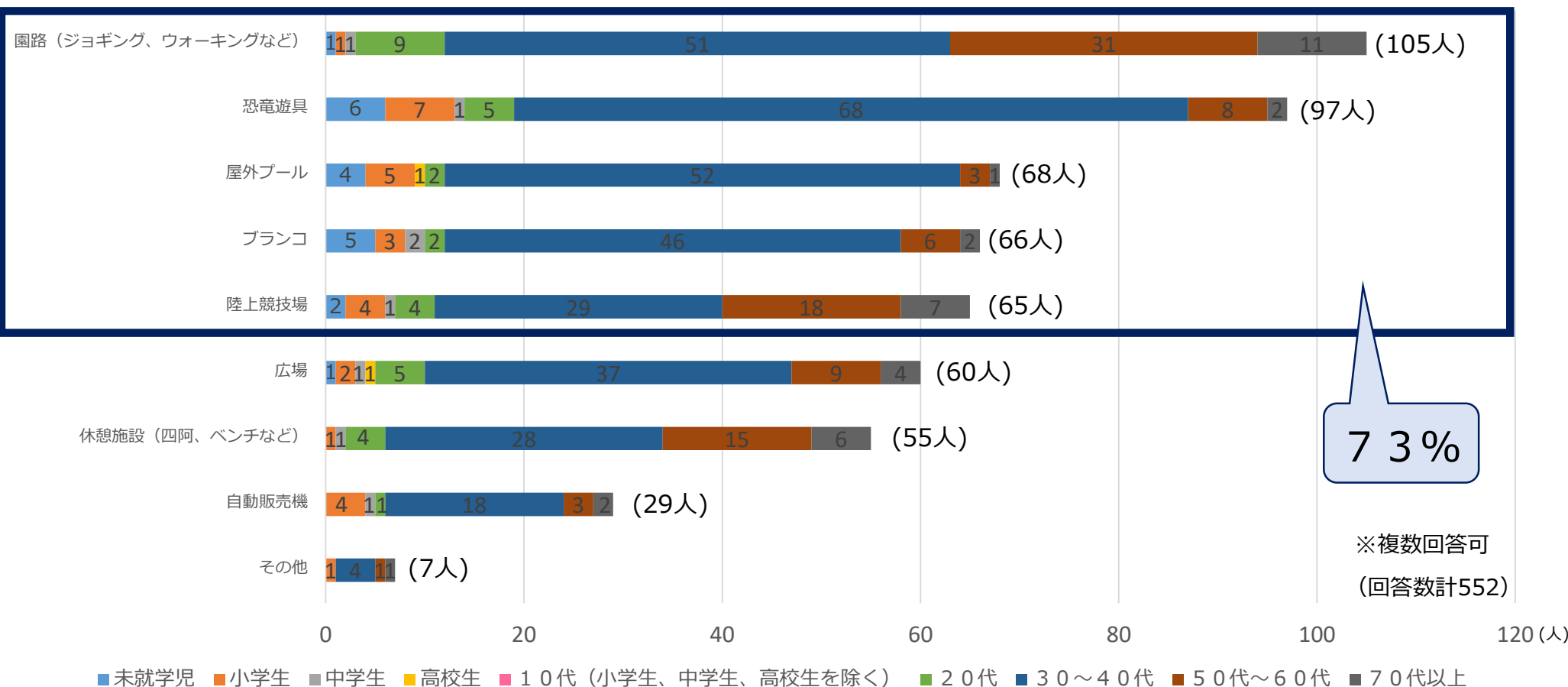


結果は、「ジョギング・ウォーキングなどの運動」が21%（98人）、「遊具（恐竜遊具・ブランコ）遊び」が20%（96人）、「屋外プール」が14%（65人）で多かった。

4. アンケート結果（2）利用状況②



●主に利用する施設（年代別）

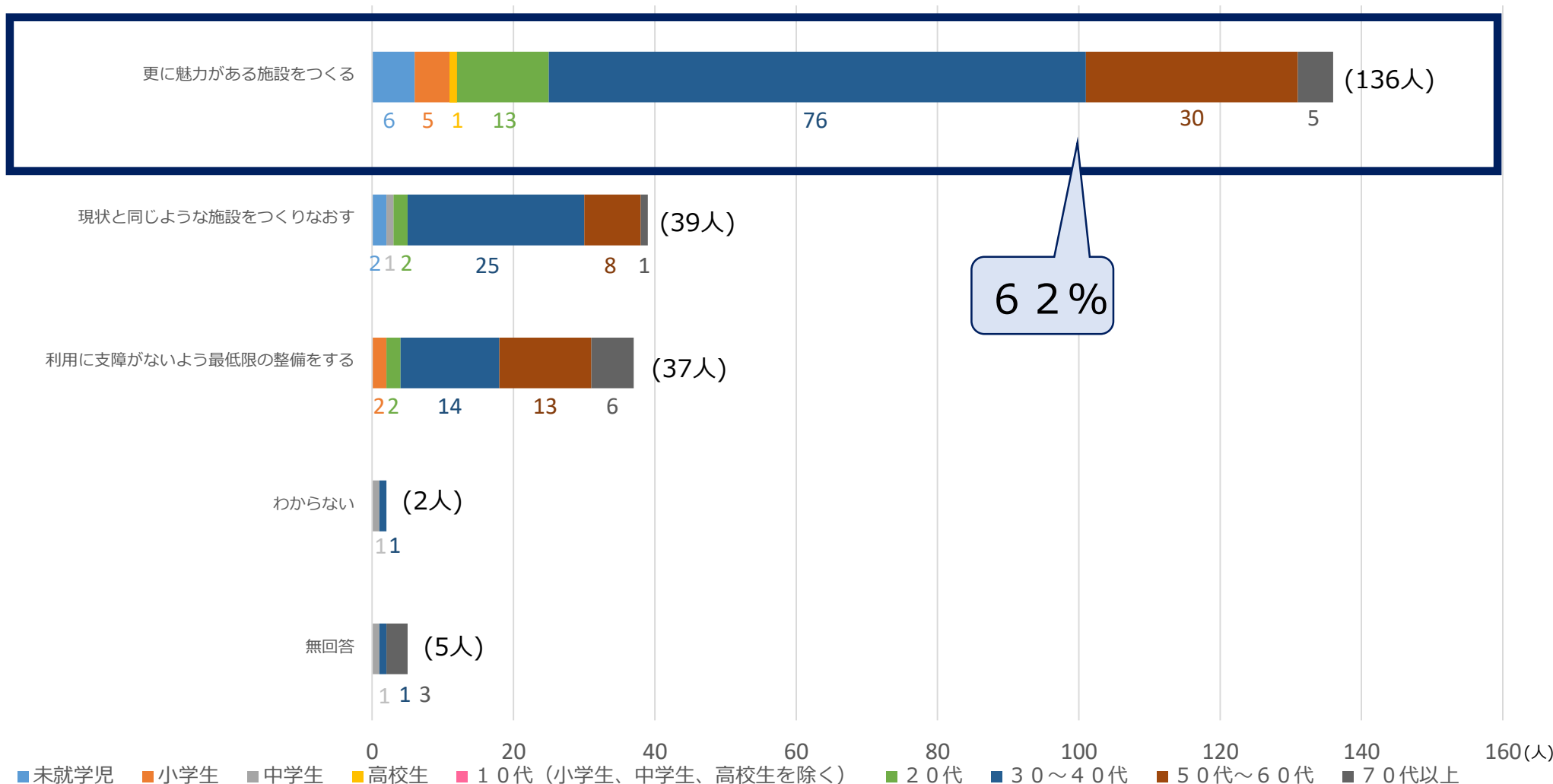


結果は、「園路」が19%（105人）、「恐竜遊具」が18%（97人）、「屋外プール」が12%（66人）、「ブランコ」が12%（66人）、「陸上競技場」が12%（65人）で多かった。

4. アンケート結果（3）再整備の考え方①



●公園再整備の考え方（年代別）

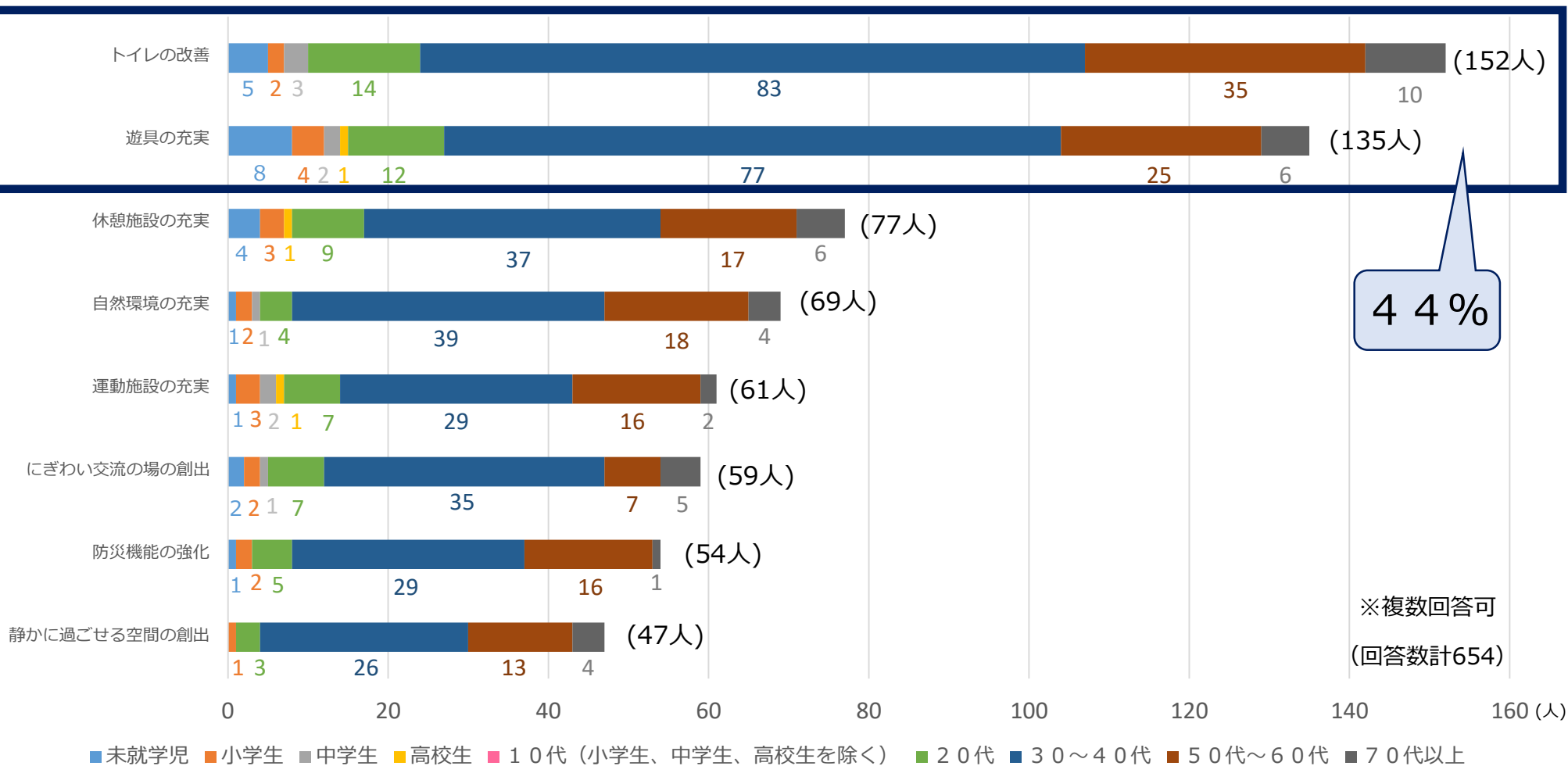


結果は、「更に魅力がある施設をつくる」が62%（136人）で1番多かった。

4. アンケート結果（3）再整備の考え方②



●公園再整備で重要だと思うこと（年代別）

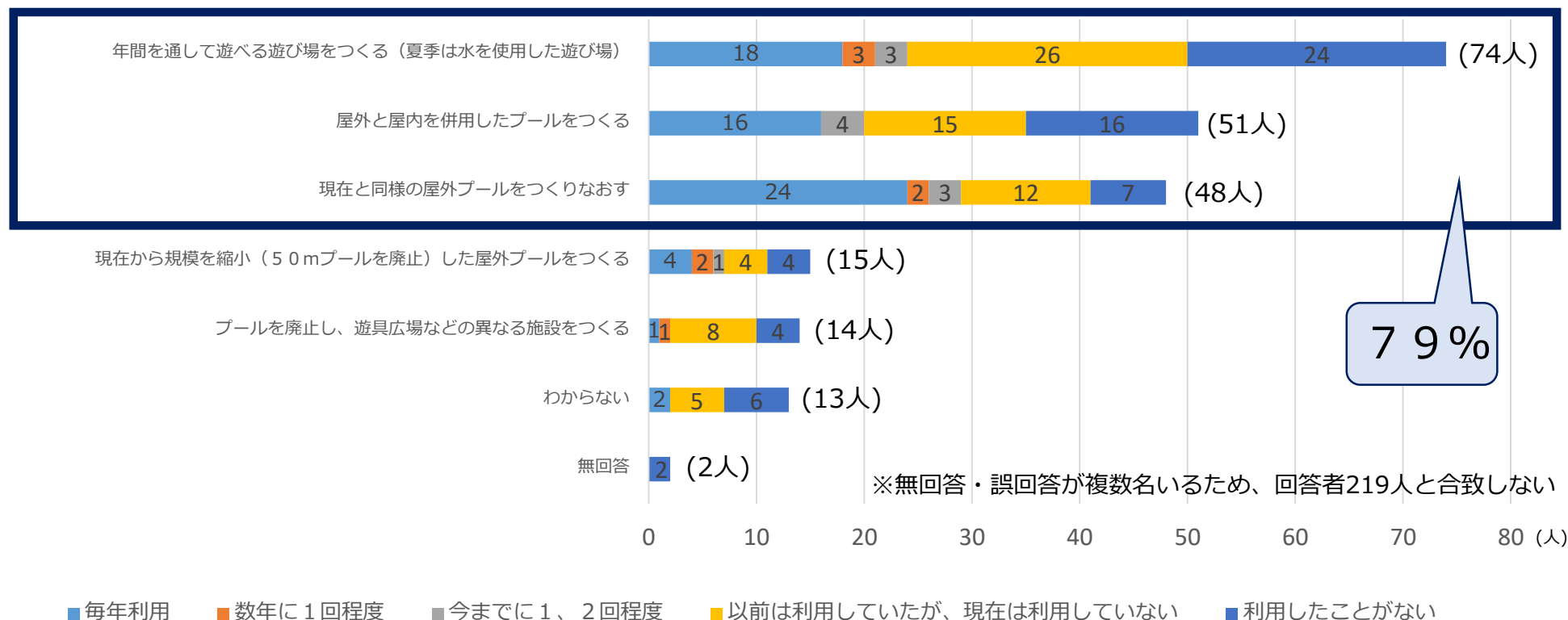


結果は、「トイレの改善」が23%（152人）、「遊具の充実」が21%（135人）で多かった。

4. アンケート結果（3）再整備の考え方③



●屋外プール再整備の考え方（プール利用状況別）

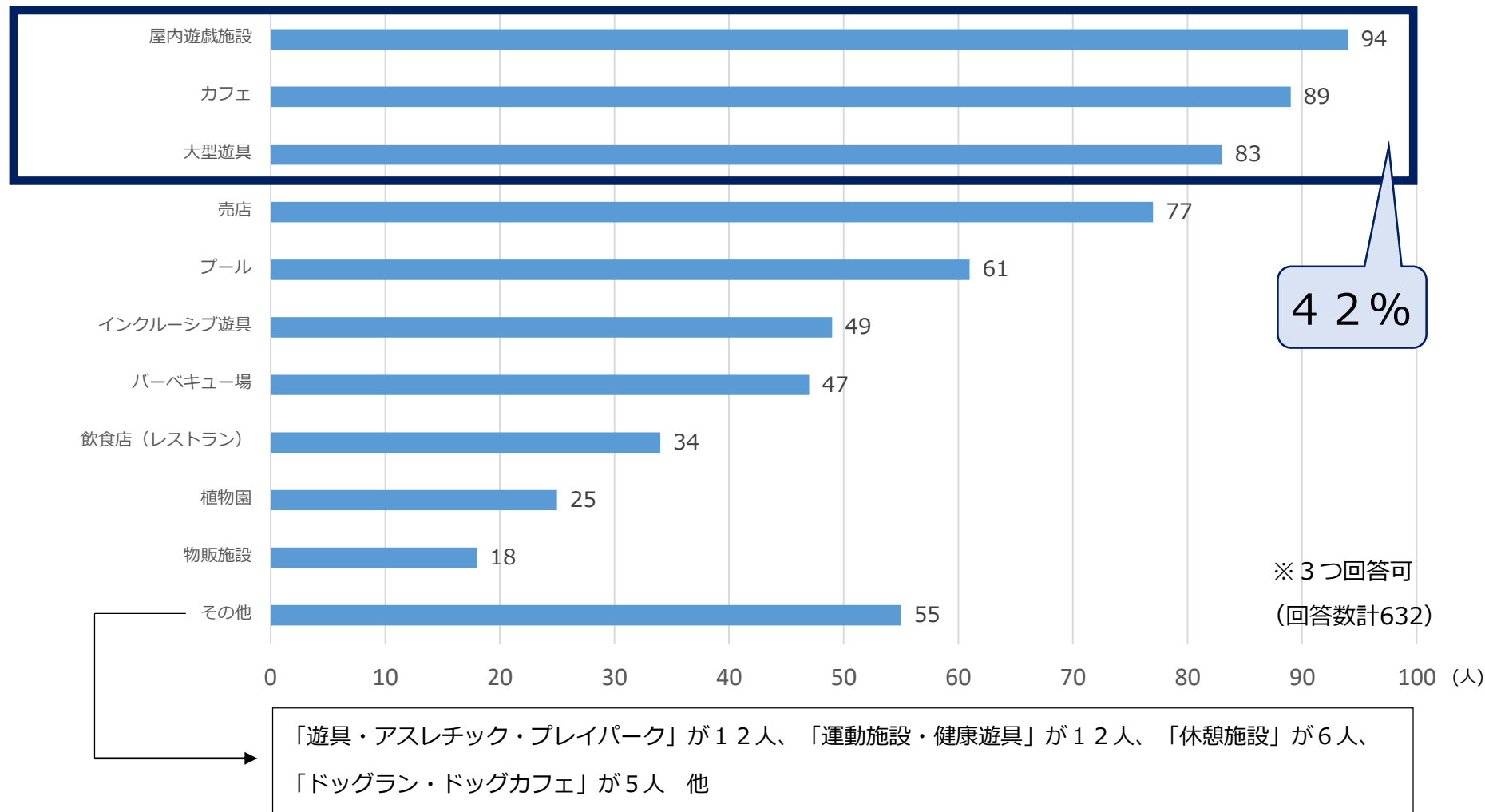


結果は、「年間を通して遊べる遊び場をつくる」が34%（74人）、「屋外と屋内を併用したプールをつくる」が23%（51人）、「現在と同様の屋外プールをつくりなおす」が22%（48人）が多かった。

4. アンケート結果（４）今後の施設①



●新たに欲しい施設

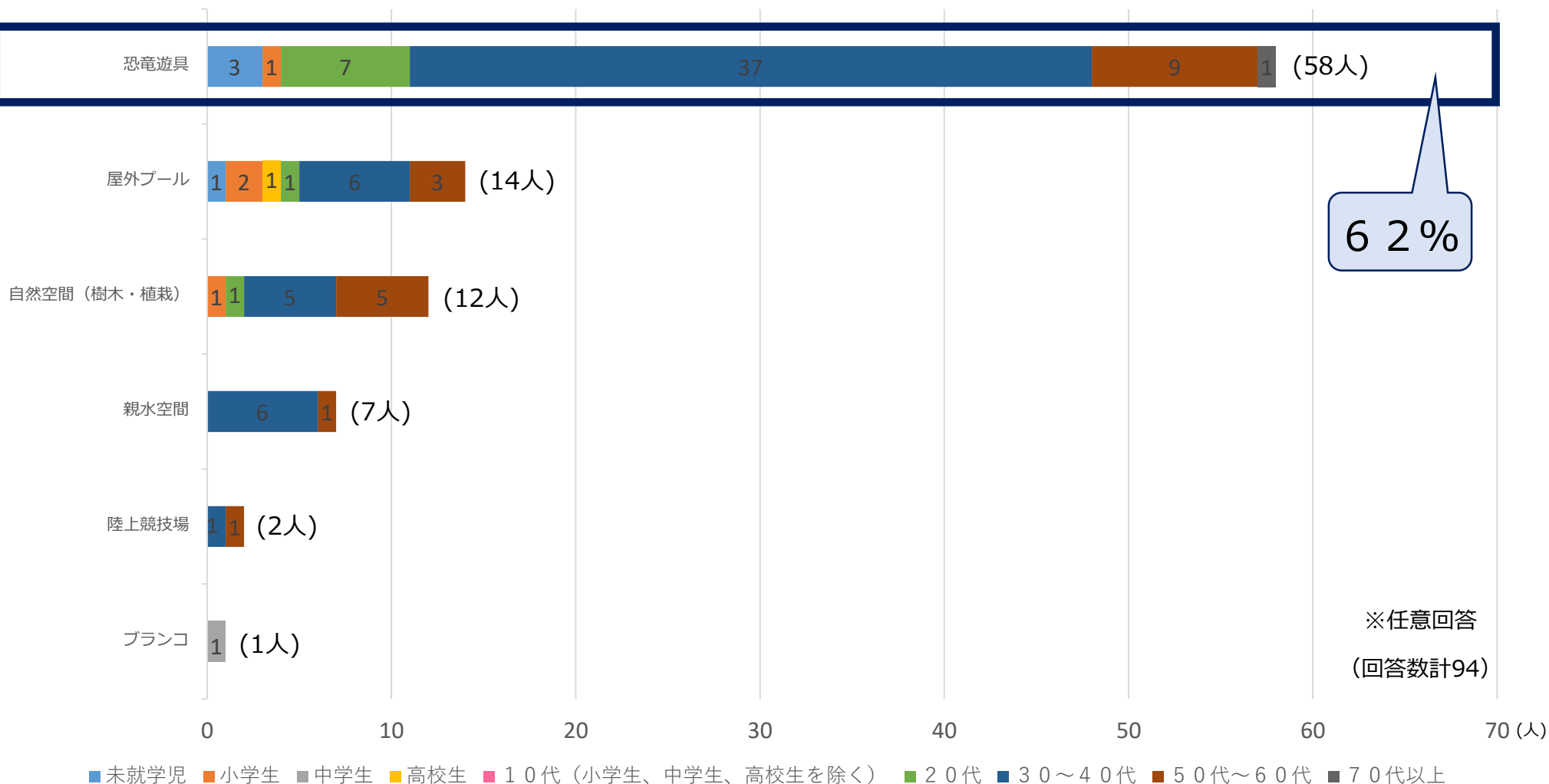


結果は、「屋内遊戯施設」が15%（94人）、「カフェ」が14%（89人）、「大型遊具」が13%（83人）で多かった。

4. アンケート結果（4）今後の施設②



●残して欲しい施設（年代別）



結果は、「恐竜遊具」が62%（58人）が多かった。

5. 調査結果の要点

- ・八坂公園は、恐竜遊具、屋外プール、自然環境などに特色があり、市民の愛着が強い公園である。
- ・特に恐竜遊具は「シンボルとして残してほしい」という意見が多い。
- ・屋外プールについては、廃止よりも更新・改善を求める意見が多い。
- ・屋外プールをはじめとする遊具、トイレ、照明、休憩所などが老朽化しており、対応を求める意見が多い。
- ・子育て世代を中心に、遊具の充実、屋内遊戯施設や全天候型の遊び場機能、日陰や休憩スペースの整備などが期待されている。
- ・自然環境や散策機能を評価する意見も多く、全面的な刷新よりも、現状の良さを残しながら改善を求める意見が多い。
- ・今後の再整備では、総じて公園の個性を維持しつつ、安全性・快適性・利便性を高め、全世代が利用しやすい公園づくりが求められている。

6. 調査結果まとめ



アンケート結果を総合すると、八坂公園は「思い出や愛着のある公園」として認識されており、再整備によってさらに魅力を高めてほしいという期待が大きい公園であることが確認できた。

特に、恐竜遊具については、八坂公園の象徴・シンボルとして広く認識されており、「残してほしい」「特徴を活かしてほしい」という意見が多く、屋外プールについても、貴重な水遊び施設として、廃止よりも更新・改善を求める意見が多数を占めている。

一方で、各施設の経年劣化やトイレの洋式化、遊具の不足、日陰・休憩スペースの不足など、今後、検討を要する課題が確認された。特に子育て世代からは、未就学児から小学生まで幅広い年齢層が遊べる遊具、屋内遊戯施設・全天候型の遊び場機能を求める意見が多くみられた。

また、中高年層を中心に、自然景観や散策環境、花や池の魅力を評価する意見も多く、再整備にあたっては「新しい施設を追加すること」だけでなく、「今ある自然や静かで落ち着きのある空間を維持すること」も重要な要素であることが確認された。

総じて、アンケート結果からは、開園から40年以上が経過し、各施設の経年劣化による老朽化対策が必要である。老朽化対策を実施するうえで必要とされるのは、八坂公園の個性や慣れ親しんだ記憶を継承しつつ、若者や子育て世代をはじめ全ての世代から愛される形で、更なる安全性・快適性・魅力を高める再整備が求められていると整理できる。